



も お か に し し ょ う

# 真岡西小だより

も お か し り つ も お か に し し ょ う が つ こ う  
真岡市立真岡西小学校

令和6年度第9号

2025. 1. 20発行



㊦いさついっぱい ㊩のちいっぱい ㊵んどう・うたいいっぱい ㊿ほん・えがおいいっぱい ㊶もいやりいっぱい

ホームページもご覧ください

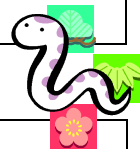
## 2025年がスタート! ～様々なチャレンジを通して 強くたくましく成長できる1年に～




明けましておめでとうございます。2025年の干支は、「巳」(へび)です。蛇は脱皮を繰り返して大きくなることから、昔から「生命力」「再生」「復活」のシンボルとされ、運気を上げる縁起物とされてきました。今年は真岡西小創立50年という大きな節目の年です。子供たちが様々な経験や学習を積んで、強くたくましく成長できる1年になってほしいと願っています。保護者・地域の皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。



### 『育成を目指す子供像』の実現を目指して


本紙9月号でお知らせしたとおり、本校では



**ハト** 相手の気持ちを考えて  **エイ** 自信をもって  **ゾウ** ねばり強くあきらめないで 

を「目指す子供像」として掲げ、全職員により全ての教育活動を通して重点的に育成に取り組んでいるところです。

2学期末に行った職員による自己評価から、「目指す児童像」に関する成果と課題を下表のとおりお知らせします。御家庭でもお子様と話題にしていただけますと幸いです。3学期も「ハト・エイ・ゾウ」の実現に努めてまいりますので、引き続き保護者・地域の皆様の御協力をお願いいたします。

	成 果 (よくできていること)	課 題 (もっと伸ばしたいこと)
相手の気持ち	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他者の気持ちを考えて行動できる、思いやりのある子が多い。</li> <li>○縦割り班による清掃や「なかよし遊び」などの取組により、上級生が下級生の面倒をよく見ている。</li> <li>○児童会のあいさつ運動などの取組により、元気にあいさつをする子が増えてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△他人任せなところが見られるので、自主性を育てたい。</li> <li>△自らあいさつできる児童はまだ少ない。あいさつを返せない児童も多い。</li> </ul>
自信をもって	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の気持ちをはっきり伝えられる児童が多い。</li> <li>○自分の意見や考えを積極的に発言できる児童が増えた。</li> <li>○課題に挑戦しようという意識が高まった。分からないことがあるときに、進んで質問するようになってきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△返事や、状況や場面に応じた適切な応対、振る舞いができるようにしたい。</li> <li>△相手に伝わるように話をできるようになってほしい。</li> </ul>
ねばり強くあきらめないで	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目の前の課題に粘り強く取り組む児童が多い。周りと協力して課題に取り組める。</li> <li>○各自がめあてをもって学習に取り組んでいる。</li> <li>○学習に集中できる時間が長くなってきた。</li> <li>○話を聞くことができるようになってきた。</li> <li>○家庭学習ノートコンクールにおいて、入賞を目指しこつこつ頑張る児童が増えた。</li> <li>○歩いて登校する児童が多い。</li> <li>○昼休みに元気に外遊びをしている児童が多い。計画的にクラス遊びを実施したり、学級担任が忙しい中児童と遊んだりしていることが大きい。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>△少々辛いことでも自分で解決したり乗り越えたりしようとする「たくましさ」が必要。</li> <li>△授業の中で、もっと考えを高めたり深めたりできるようにしたい。</li> <li>△話を聞く態度を身に付けさせたい。</li> <li>△児童の努力だけでは改善できないことも多く、家庭の協力をお願いすることが多くなっている。</li> </ul>

## 年の瀬にいただいた うれしいお電話



昨年の暮れに、学校に1本の電話がありました。それは地域にお住まいの方からで、次のような内容でした。

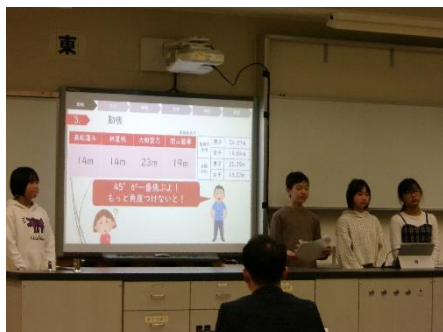
「信号のない横断歩道で車を止めると、西小の子が渡る前に一礼、渡ってからも一礼していきました。何て素晴らしい教育 と思いました。よその人も『西小はすごいよね』と言っていたので、代表で私が電話しました。これからは事故の無いよう頑張ってください。スクールガードの皆さんにもよろしくお伝えください。」

— 本校では、日頃から児童に「命が一番!」「自分の命は自分で守る」と指導しているところです。そのような中御丁寧にいただいたお電話に、職員一同感激しきりです。何より児童、職員にとって大きな励みになります。

早速その日の昼食時に、電話でいただいたお話を校内放送で全校児童に伝えさせていただきました。褒めていただいたこのような行いが、子供たちの自信となり、さらに子供たちの間に広がっていくようにとの思いを込めて…。地域の皆様、引き続き子供たちへの温かい見守りや御支援をどうぞよろしくお願いいたします。

## 第76回真岡市小学校理科研究発表会

1月10日（金）に真岡市小学校理科研究発表会が真岡市科学教育センターを会場に行われました。本校では、理科が大好きな6年生の児童4名が集まってチームを作り、ボールの飛距離と角度の関係性等を解明する研究に取り組みました。ボールを遠く飛ばすためには、45度の角度で投げるとよく飛ぶらしいという仮説から本当にそうなのかを確かめるため、投球実験を繰り返し行い記録にまとめ検証した研究を進めました。当日は、落ち着いて発表を行い、真岡市の代表として芳賀地区の理科研究発表会に参加できる特選に選ばれました。芳賀地区の大会では、真岡市の代表として練習の成果を発揮できるよう応援したいと思います。



## 第39回ベルマーク便りコンクール優秀賞受賞

本年度も11月にベルマーク財団より、うれしい連絡が届きました。それは、本校のベルマーク便りが「第39回ベルマーク便りコンクール」において、昨年に引き続き優秀賞に選ばれたというものでした。2年続けての受賞、誠にありがとうございます。本年度も、盾と賞金が郵送されてきました。いただいた賞金の一部を図書充実費としてお預かりしました。また、厚生委員会の皆様にはたくさんのベルマークを集めていただき、毎年学校備品や消耗品の購入をさせていただいております。本当にありがとうございます。



（いただいた盾）

## たくさんの本を購入しました

2学期に御協力いただいた図書充実費は、保護者の皆様のおかげをもちまして11,700円集まりました。この御寄付とベルマーク財団からいただいた賞金を合わせまして、本年度も学校図書館司書が中心となり、子供たちのために本を選定し購入いたします。今後、司書と図書ボランティアの方々の御協力で貸出の準備が終わり次第、読書センターに配列する予定です。たくさんの本が子供たちの心の栄養になっていくことを楽しみにしております。御協力ありがとうございました。

### <購入する主な本のタイトル>

- ・こどもスポーツ練習Q&A
- ・グレッグのダメ日記シリーズ
- ・十年屋シリーズ

- ・さかなクンのギョギョッとサカナ
- ・ほねほねザウルスシリーズ
- ・ラストで君は「まさか!」と言うシリーズ 他



（図書返却の手伝いを行っている図書ボランティアの方々）